



暑中お見舞い申し上げます

梅雨明けが待たれ、紫陽花の花の紫が日ごとに深まる今日この頃ですが、いかがお過ごしでしょうか？

先月は高校総体（インターハイ）の地区予選～県大会の熱戦が各地で行われました。そして各競技・各会場で様々なドラマが繰り広げられたと思います。負ければ3年生は即引退。2年生は即先輩との最後の試合となる訳です。私の経験（野球部でした）では、2年での敗退時の方が悔しかったことを思い出します。

最終学年での敗退は確かに悔しいですが、すべてをやりきった充実感があり、多少吹っ切れた状況だったと思います。2年の敗退時は「先輩のためにもっと何か出来ることは無かったか」という思いがあり、悔しさが増したのだと思います。

私の長女は松山南高のフィールドホッケー部の2年生です。総体では松山中央高に負けてしまいました。試合終了前にも関わらず、下級生の娘が泣きながらプレーしている姿を見て、胸が熱くなりました。（とても辛かったです）

来年は最後の総体になります。私も全力で応援・サポートして最後は悔し涙でなく、嬉し涙と一緒に流したい思います。



平成30年7月1日

(株)日本交通社

代表取締役社長 光田秀之

